

# 富山経協



ギンコウボク (解説・19ページ)

## CONTENTS

- 2 第73回定時総会 (報告)
- 4 講演会 (要旨) 「キリンビールの働き方改革」
- 6 理事就任のご挨拶
- 7 労働指標
- 8 調査報告  
2018年春季賃金改定状況調査<最終集計>
- 10 Top Interview  
笹嶋工業 笹嶋明人社長
- 12 事業活動報告、理事会
- 13 委員会活動
- 14 環境委員会 富山県との情報交換会 (講演要旨)
- 15 講座・セミナー
- 15 参加者NOTES
- 19 新会員の紹介
- 19 会員の動き
- 20 おしらせ・事業予定

# 第73回

# 定時総会



一般社団法人富山県経営者協会の第73回定時総会は5月23日(水)、富山国際会議場2階会議室で、会員総数498社中、出席174社、委任状30社、議決権行使208社、合計412社により開催した。

定刻に至り、開会を宣言し、本定時総会が定足数に達しており成立している旨を告げ、定款第15条に

より金岡会長が議長となり、7つの議案と1つの報告について審議・報告し、いずれも異議なく満場一致で承認された。(議事内容は4～5頁に掲載)

議事に先立ち金岡会長より、昨年総会以降の叙勲者、褒章受章者の松井竹史氏(テイカ製薬株式会社代表取締役社長)が紹介された。



## 講演会

総会終了後、同会議場3階メインホールで、キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員 三好敏也氏から「キリンビールの働き方改革」と題して講演をいただいた。



## 懇親会

懇親会は、ANAクラウンプラザホテル富山・鳳の間で開催した。開会に先立ち、金岡会長から新会員の(株)アポケアとやま、三晶技研(株)、(有)ステップアップ、テクノメタル(株)、豊富産業(株)、富士通(株)富山支店、森永北陸乳業(株)富山工場の各社が紹介された。

続いて懇親会の開会にあたり、金岡会長は「働き方を根本的に見直すコンセンサスが高まり、AI・IoTなど生産性向上を図る技術基盤が整い、残るは私たち人の心の問題。すなわち、新しい手法・技術を経営に積極的に取り入れていくかどうか、多様な物の考え方・働き方の違いを許容するかどうか、また他人に過剰なサービスを求めない社会を築き上げることができるかどうかである。経営者協会は長年、「企業と人」の問題を取り扱ってきた。協会の活動に積極的にご参加いただき、会員相互の意見交換を通して生産性向上・働き方改革の実現を達成していただきたい。人材の集積県富山、先進の経営県富山を目指し、引き続きのご協力をお願いしたい」と挨拶した。その後、綿貫副会長の発声で乾杯を行った。

和やかな懇談のなか、公務ご多忙にも関わらずご参加頂いた来賓の石井知事の祝辞があった。笠井前副会長が中締めを行い終了した。



金岡会長



石井知事



綿貫副会長



笠井前副会長

## キンビールの働き方改革

麒麟ホールディングス株式会社

取締役常務執行役員 三好 敏也 氏



麒麟ホールディングス傘下の麒麟（キンビール、メルシャン、キンビバレッジ）の働き方改革についてお話しいたします。

変化の厳しい事業環境の中、これまでの延長線上では難しく、既存事業の収益力を高めながら、その周辺や新分野で新たな価値の創造をしていかなければなりません。そのためには、一人ひとりの人材がいきいきと活躍する、自分の時間を創出してチャレンジすることが必要です。

仕事を見直して一人ひとりの能力を伸ばしていくこと、多様性を尊重して推進していく。そして、それを引っ張るトップのリーダーシップ、このリーダーシップ開発をベースに組織風土を改革し、かつ創造につなげていくという中に働き方改革を位置づけています。

麒麟の働き方改革の1つは「社員一人ひとりの働き方の意識付け」として制度面でサポートしています。そのために2つ目「トップの働き方改革の意識改革」をしなければいけない。そして、3つ目「会社を超えた業界の取り組み」が必要になってきます。

### 1. 制度面の取り組みと

#### 社員の意識改革

まず、「働く場所や時間の自由度を上げる」ことと「業務の効率化・総労働時間の削減をサポートする」こと。前者は制約を外してどんどん自由にしていく、後者は総労働時間の制約をかけていく。一定の枠をかけながら働き方は自由にしていこうという考え方です。

具体的には、私物のパソコンから仮想のデスクトップに入って仕事ができるようにし、どんな場所でもどんな時間帯でも仕事は可能になります。在宅勤務制度を拡充し、場所の自由度を上げています。時間についてはフレックスタイト制を導入していましたが、コアタイムを廃止し、企画型裁量労働制を導入しています。

時間や場所の自由度を上げたところ、仕事とプライベートの両立ができる、モチベーションにつながっている、効率が上がったというような声も聞いています。

枠をかける面では、グループの本社ビルは22時に一斉消灯し、深夜労働を抑制。「なり麒麟ママ・パパトライアル」という麒麟独自の取り組みもしています。勤務間インターバル制も導入に向け、今トライアルしています。

「なり麒麟ママ・パパ」

「時間制約があるパパorママ」になりきる1カ月を経験します。仮想の前提条件は、子どもは2歳前後、配偶者はフルタイム勤務などという前提で、「なり麒麟でママ（パパ）になります」と周りに宣言し、その1カ月間は定時出社の定時退社の働き方をします。

特徴的なのは「突発的な休み」で、子どもが発熱した翌日は勤務不可で休む。また、出社している時に迎える連絡が入ると、そこからは勤務不可になります。

この研修をしてすぐ効果があるのは意識改革の部分です。計画的に仕事をするようになった。職

場の中でお互い様みたいな部分が出てきて、どうやってサポートしていくかと考え、個人・職場双方の意識改革が進んだと思います。

この取り組みを参考に鳥取県ではモデル事業として実際に取り組みを始められるそうです。ある意味、自分たちの働き方改革や価値の創造につなげるためにやることですが、結果として社会の課題解決に向けて役立っているということで、これも我々の目指す取り組みの形かなと思った次第です。

### 2. 経営者の意識変革と

#### 業務の見直し・効率化

一番難しく、一番効果があるところだと思います。経営者あるいは会社が、この仕事はやらなくていい、この仕事はここまででいいなどと、きちんと仕事を見直さないと、いくら社員の意識を変えようとしても難しいというのが実感です。

取り組みたい部門を募り、モデル部門として取り組んでもらっています。内容は、トップダウンでやめる仕事、減らす仕事、変える業務、これを特定して徹底的に仕事を見直す。出張であれば原則1名にして、関わっている人たちの時間を創出するなど、地道ですが、着実に実施しております。実際にモデル部門では、労働時間が削減され、社員の満足度調査でも顕著に好スコアが得られました。

#### 業務効率化に向けた取り組み

さらに実際の業務効率化に向けた取り組みとしては、まずアウトプットのイメージをきちんと共有

## 第73回総会 議事

してから仕事をスタートする、資料の簡素化・シンプル化、主要タスクの活動内容と年間スケジュールを全メンバーに見えるようにして相互にフォローすることなどを行っています。

### 会議ダイエット

「会議の鉄則」を各会議室に掲示しています。「事前準備5箇条」は、ゴールを決める、アジェンダを明確にする、資料はできるだけ事前に送付する。参加者は読み込んで考えを整理して臨む。

「開催当日2箇条」は、目的・ゴール、時間配分を確認する、そして一番重要なのは、会議の最後で何が合意され、何が課題として残り、責任者は誰かということを確認することです。

### 3. 単独企業を超えた取り組み

ドライバー不足が深刻化し、さらに、トラックを走らせることは環境に負荷がかかり、社会課題として解決していかなければなりません。そういったことを踏まえて、これは弊社だけでなく日本全体の課題でもありますし、ビール業界にとっても共通の課題です。

競争していく分野と協調していく分野とを見極めて、協調できるところはできるだけ協調していくということがビール4社の経営トップからも発信されて、協調分野について検討を進めています。

### 北陸エリア共同物流

まず先駆けて北陸エリアで2社で共同物流をしています。金沢市内に共同の配送センターを開設し、関西の製造拠点から北陸エリアへ比較的余裕のある鉄道下り線コンテナを有効活用してモーダルシフトを推進しています。

効果としては、トラックの走行距離が大幅に減り、ドライバーの運転時間も35%減、CO<sub>2</sub>の排出

量についても現行比で56%減となりました。

### 北海道 道東エリアでの共同物流

北海道エリアではビール4社が2017年7月から共同輸送をしています。札幌の貨物ターミナル駅構内に4社共同の倉庫をつくり、ここに集約した荷物をお届け先別に仕分けをし、混載して道東エリアへ配送しています。輸送効率が格段に上がり、さらにできるだけ鉄道利用を優先してモーダルシフトもできております。

### 社外からの評価・関心

北陸、北海道の共同物流に対して、ドライバー不足をメーカーの取り組みとして先手を打ったとして、非常に注目されました。さらに、改正物流総合効率化法の計画認定や、グリーン物流パートナーシップ会議での国交大臣表彰など、評価をいただいております。

### 4. まとめ

日本全国の社会課題として少子高齢化・人手不足があります。人手不足の一方で新たな挑戦をしていかなければいけないという、二律背反のような課題をいかに解決していくのが、働き方改革のテーマと思います。

働き方改革については、個人、経営、単独の企業を超えた色々な角度から取り組んでいく。徹底的に無駄な仕事を見直して、その見直しによって時間を創出していく。そして、働き方改革とセットにしなければいけないのは人材の育成で、仕事を見直してクリーンな体制にし、一人ひとりの力を伸ばすことで、色々な課題が一緒に解決できるのかなと思います。ぜひ時間を経営資源ととらえていただいて、その経営資源を企業活動あるいは人材の育成に再投資していくことが非常に重要と考えております。

### 第1号議案 2017年度事業報告の件

定時総会は5月22日に開催し、総会後「働き方を見直して生産性アップ」をテーマに講演会、懇親会を行った。理事会は書面理事会を含め7回開催した。事業推進機関会議は、3月2日に幹事会を開催した。会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区と、3回開催した。広報調査活動は、機関誌を7回発行した。定期調査は7件、経営課題調査は2件実施した。委員会、講座・セミナー等を実施し、以上の活動により、事業への参加者数は6,142名となり、4年間連続で6,000名を超えた。

### 第2号議案

#### 2017年度財務諸表承認の件

・貸借対照表

(資産の部)

流動資産	123,004,223円
固定資産	43,901,392円
資産合計	166,905,615円

(負債の部)

流動負債	8,883,644円
固定負債	3,863,692円
負債合計	12,747,336円

・正味財産増減計算書

(一般正味財産増減の部)

経常収益計	98,215,643円
経常費用計	96,240,395円
経常増減額	1,975,248円

(経常外増減の部)

経常外収益	0円
経常外費用	0円
経常外増減額	0円

一般正味財産増減額 1,975,248円

正味財産期末残高 154,158,279円

資産合計から負債合計を引いた正味財産合計は154,158,279円となった。

### 第3号議案

#### 公益目的支出計画実施報告の件

公益目的財産額の確定額

171,314,841円を19年間でゼロ円とす

る公益目的支出計画に基づき、今年度支出計画収支差額△10,345,000円に対して実績は△8,445,547円となった。

続いて、第2号議案に関し、監事の金岡純二氏（富山第一銀行代表取締役会長）から「その内容は正確かつ妥当」との監査報告が行われた。

以上3議案について異議なく満場一致で承認された。

#### 第4号議案

##### 2018年度事業計画（案）審議の件

世界の政治・経済情勢は、北朝鮮問題など地政学リスクがくすぶるなか、主要経済指標は堅調な成長を示しており、世界的な景気回復が貿易、経済活動、企業業績に波及している状況であるものの、世界経済の不確実性を注視するような一面もある。一方、国内においては急速に進行している人口減少への対応、大都市への人口集中、高齢化が現実のものとなり、社会全体に関わる重要な課題が山積している状況である。

このような時にこそ、富山県経営者協会が長年「企業と人」にフォーカスしてきた事業活動が、ますます重要になっており、富山で事業を営む経営者で構成する民間経済団体として、あるべき姿を自覚し、新たな行動をすることにより、存在価値を高めていく。そのために多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究と広報、労働生産性の向上、会員企業で働くすべての社員の能力向上を目的とする研修・セミナー等、事業活動を進め会員サービスの向上につなげていく。

1. 企業経営に必要な情報の収集と提供をタイムリーに実施する
  - (1)経営課題に関する調査研究と情報発信を行う
  - (2)会員に必要な情報収集と発信を行う
  - (3)人事労務、環境経営、人材育成に関する相談活動の充実を図る
2. 「企業と人」にフォーカスした委員会活動を推進する
  - (1)委員会の役割・目的を明確にし、

タイムリーな研究・情報発信を行う

- (2)あらゆる業種・階層に応じた人材育成の研修・セミナーを企画・実施する
  - (3)『少子化時代における現場力向上と人づくり』をテーマに研究・情報発信を行う
3. 事業活動とサービスの幅を広げ、会員相互の交流機会を支援する
    - (1)総会、幹事会、地区懇談会を開催する
    - (2)会員企業の見学会とビジネス交流の機会を提供・支援する
    - (3)多様な交流機会を提供する
  4. 会員ニーズに沿った事業活動とサービスの提供
    - (1)会員訪問活動を強化し、要望やニーズを踏まえた事業活動を実施する
    - (2)研修・セミナーは実施後評価を踏まえて、スクラップ&ビルド
    - (3)「働き方改革」等、先進的事例のセミナーを開催する
  5. 民間経済団体として機能発揮と地域社会の発展に貢献する
    - (1)会員状況把握、政策提言・要望活動を実施する
    - (2)行政との密な連携と相互事業を実施する
    - (3)経団連・他団体との密な情報連携を図る

#### 第5号議案

##### 2018年度損益予算（案）審議の件

・損益予算書	
（一般正味財産増減の部）	
経常収益計	94,444,000円
経常費用計	101,947,000円
経常増減額計	△7,503,000円
（経常外増減の部）	
経常外収益計	0円
経常外費用計	0円
経常外増減額計	0円
一般正味財産増減	△7,503,000円

以上2議案について異議なく満場一致で承認された。

#### 第6号議案 理事選任の件

<理事候補者>

新任 八十島清吉（株）タカギセイ  
コー代表取締役社長

新任 小林 昌行（株）不二越  
常務取締役

以上異議なく満場一致で承認された。

#### 第7号議案

##### 会費暫定値下げの見直しの件

2019年度徴収分から暫定値下げ中の会費を見直す。

1. 一般会費
  - ・値下げ率 現状 15%  
→ 改訂後 9.1%  
(1口あたり 現状9,350円/口  
→ 改訂後10,000円/口)
  - ・値下げ時期 2019年度徴収から当面3年間を目処とする。
2. 特別会費
  - ・引き続き徴収しない。
  - ・徴収中断時期 2019年度から当面3年間を目処とする。

以上異議なく満場一致で承認された。

#### 報告事項 耐震補強工事に伴う

##### 事務所一時移転について

当協会の事務所を置き、研修・セミナー、委員会等で利用頻度の高い富山商工会議所ビルは、耐震補強工事を実施することになった。（工事期間2018年7月～2020年3月予定）

当協会の研修・セミナーや委員会活動のサービスを維持し、運営をスムーズに行うために、富山商工会議所ビルの耐震補強工事期間に相当する2年間について、現状と同等の事務所スペースと貸し会議室が複数ある施設へ移転する。

・移転先 タワー111ビル  
(富山市牛島新町5-5)

・移転期間 工事期間の2018年7月から2年間  
以上を報告した。

#### 閉会

以上をもって、総会の議案はすべて異議なく満場一致で承認・決定され、16時30分に第73回定時総会を終了した。

# 理事就任のご挨拶



株式会社 タカギセイコー  
代表取締役社長

八十島 清吉

この度、当協会の理事に選任されましたことは、誠に光栄に存じますとともに、改めてその重責を痛感しつつ、引続き役員企業として参画の機会を与えられましたことを大変誇りに思う次第でございます。

さて、世界の経済情勢は、米国の好景気等を背景に、様々な潜在リスクを抱えながらも景気は拡大基調にあり、IMFの「世界経済見通し」でも2018・19年の経済成長率はともに上方修正されて3.9%と予測されております。

一方、日本経済も戦後2番目となる景気拡大途上にあり、一時的な減速を含みつつも緩やかな拡大傾向が見込まれる中、政府は昨年末「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定し、日本経済の安定化に向け「人づくり革命」と「生産性革命」を両輪に取り組みむこととされております。

また富山県では、雇用・個人消費・設備投資等の好転で緩やかな回復が予想される中、県政では予てより総合計画を策定され、重点戦略の一部としてグローバル競争も見据えた、ものづくり産業の高度化や、少子高齢化等にも対処した活力創造の取り組みが進められております。

これらの世界・日本・富山県の動向における重要政策を重ね合わせた場合、それは当協会の基本理念と事業方針にも通底するものであり、「企業と人」にフォーカスした幅広い協会活動の意義を改めて実感し、微力ながら会員企業の皆様のお役に立つよう尽力いたす所存でございます。皆様方のご指導とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**略歴** 1955年生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科修士修了。1980年小西六写真工業(株)入社。1985年(株)高木製作所(現(株)タカギセイコー)入社、1999年執行役員経営企画部長、2001年取締役、2003年常務製品本部長、2007年専務、2010年代表取締役専務執行役員、2014年から代表取締役社長。



株式会社不二越  
常務取締役

小林 昌行

この度、当協会の理事に選任いただき、誠に光栄に存じます。

不二越は、今年から本店を東京に置く体制とし、経済団体活動も東京と富山の両方で取組みさせていただくこととしております。そのもつで、当協会には、私が参加させていただくことになりました。

当社は、今年、創業90年に当たりますが、富山で生まれ育った企業です。その感謝の思いをもって、当協会の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

最近の経済環境は、米国トランプ政権の貿易摩擦問題など不透明な要素はありますが、世界経済、日本経済とも総じて堅調に推移しており、これを受けて富山県も着実に景気拡大・改善しています。特に有効求人倍率は、今年に入り、2倍近い水準が続いており、人手不足に苦勞されている経営者の皆様も多いかと思ひます。

そういう中であつて、当社は、「ものづくりの世界の発展に貢献する」を会社の使命としております。生産性の向上を通じた働き方改革の実現に貢献できるよう、様々な面から、取組んでまいります。

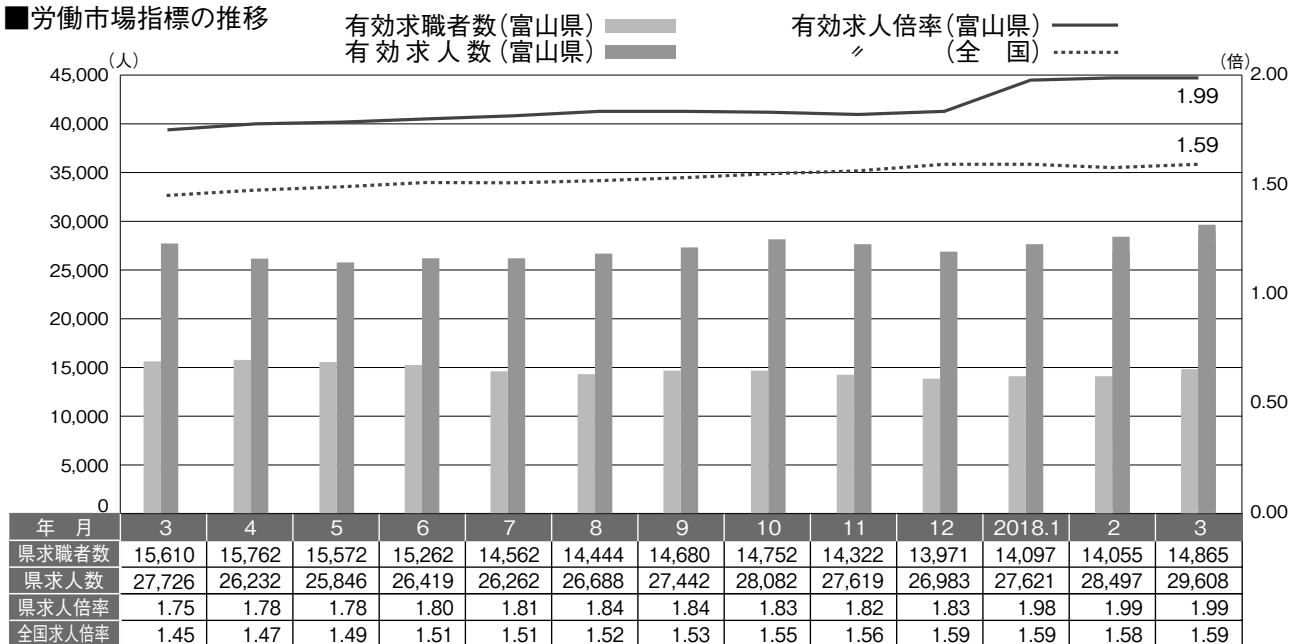
また、富山工場は、当社グループのマザー工場として、引続き拡充強化します。会員企業の皆様との連携を深め、地域経済の活性化に繋がるよう努力してまいります。

微力ではありますが、会員企業の皆様のお役に立てるよう努めますので、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**略歴** 1954年生まれ。東北大学経済学部卒。1977年(株)不二越入社、2001年財務部長、2011年取締役財務部長、2015年から常務財務・総務担当兼リスク管理総括兼滑川・水橋事業所長。

# 労働指標

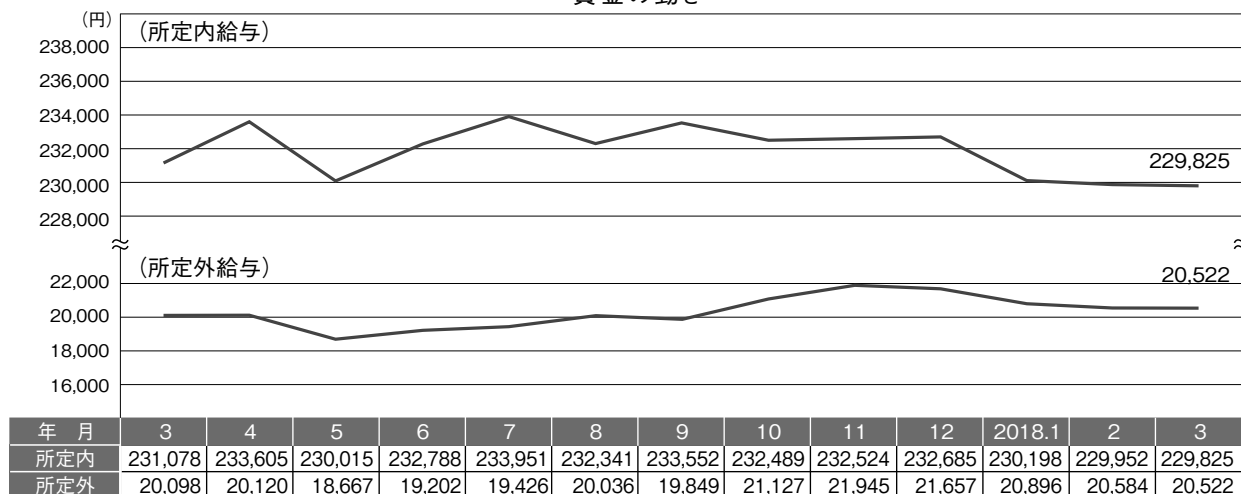
## 労働市場指標の推移



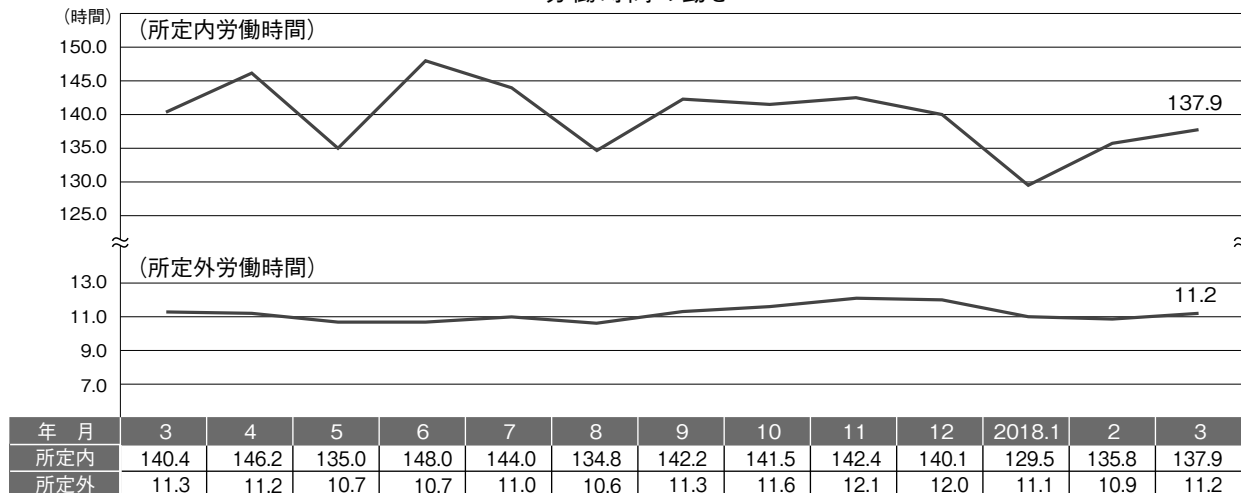
出典：富山労働局「労働市場月報」[https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei\\_toukei/shokugyou\\_shoukai/toukei.html](https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html)

## 賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

### 賃金の動き



### 労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/maikin/index.html>

## 2018年春季賃金改定状況調査

### 県内企業の賃金改定状況〈最終集計〉

(表1) 2018年 春季賃金改定状況調査結果 (加重平均)

〔最終集計—2018年6月5日現在〕

(一社)富山県経営者協会

		2018年			2017年		
		社数(社)	改定額(円)	改定率(%)	社数(社)	改定額(円)	改定率(%)
製 造 業	食料品・飲料	2	2,772	1.14	3	3,222	1.39
	織 維	2	3,243	1.67	3	6,111	2.04
	木材・パルプ・紙	2	2,673	1.26	3	2,739	1.35
	印 刷	3	3,033	1.42	0	—	—
	化 学	12	5,230	1.68	11	6,630	2.43
	プラスチック・ゴム	5	4,129	1.73	7	4,604	1.83
	鉄鋼・非鉄金属	4	4,221	1.56	4	3,850	1.77
	金属製品	9	4,402	1.60	10	4,248	1.73
	汎用・生産機械器具	12	7,575	2.88	13	5,156	2.10
	電子・電気機械器具	6	3,752	1.60	6	3,821	1.57
	輸送用機械器具	4	5,019	1.89	4	4,130	1.60
	その他製造業	1	—	—	1	—	—
	製造業平均		62	5,019 (4,962)	1.82 (1.99)	65	4,911 (4,154)
非 製 造 業	建 設	14	6,980	2.67	14	6,296	2.45
	電 気 ・ ガ ス	2	2,463	0.86	3	2,772	0.99
	情 報 通 信	8	5,603	2.17	9	3,510	1.28
	運 輸	9	2,750	1.53	13	2,274	0.93
	卸 ・ 小 売	14	4,947	1.93	18	4,246	1.44
	金 融 ・ 保 険	1	—	—	1	—	—
	宿泊・飲食・生活関連	2	741	0.37	2	13,168	5.26
	学術・専門・技術サービス	7	4,720	1.60	6	4,726	1.63
	教育・医療・福祉	3	3,004	1.04	4	2,457	1.01
	サービス・その他非製造業	2	2,615	1.12	3	2,209	0.89
非製造業平均		62	3,651 (5,546)	1.53 (2.03)	73	3,496 (5,197)	1.31 (1.90)
総 平 均		124	4,479 (5,254)	1.73 (2.01)	138	4,215 (4,706)	1.60 (1.82)

- (注) ① 調査対象492社のうち、集計可能な回答のあった124社の数値である。  
 ② 平均欄の上段は加重平均、下段の( )内は単純平均である。  
 ③ 当該業種1社だけの回答の場合は数字を伏せているが、平均には含む。



## 124社加重平均4,479円、改定率1.73%

当協会は、「2018年春季賃金改定状況調査（加重平均）」の最終集計を取りまとめた。（表1）

県内企業124社から寄せられた回答（全て集計可能）の改定額平均は4,479円、改定率1.73%で、昨年（4,215円、1.60%）と比べると、改定額は264円増加、改定率は0.13%増加した。

業種別にみると、製造業62社の改定額平均は5,019円、改定率は1.82%で、昨年（4,911円、1.89%）と比べると、改定額は108円増加したが、改定率は0.07%減少した。非製造業62社の改定額平均は3,651円、改定率は1.53%で、昨年（3,496円、1.31%）と比べると、改定額は155円、改定率は0.22%増加した。

改定額の分布では、「6,500円以上」が34社で最も多く、次いで「4,000円以上4,500円未満」が11社、

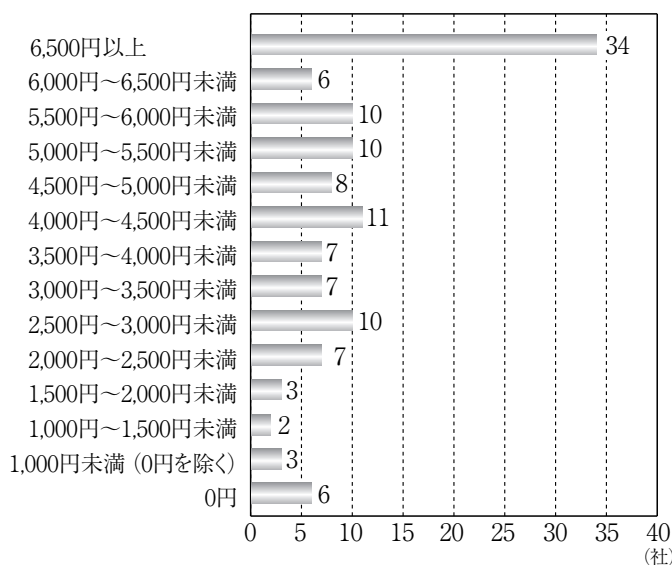
「5,500円以上6,000円未満」、「5,000円以上5,500円未満」と「2,500円以上3,000円未満」がそれぞれ10社であった。（表2）

改定率の分布では、「2.4%以上」が36社で最も多く、次いで「2.2%以上2.4%未満」と「2.0%以上2.2%未満」がそれぞれ12社であった。（表3）

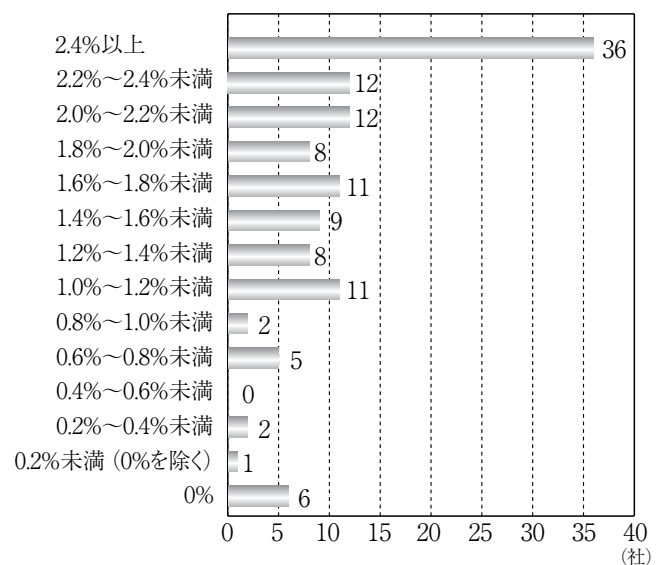
改定の実施内容では、「定期昇給とベースアップを実施した」企業が48社で最も多く、「定期昇給のみ実施した」企業が42社、次いで「定昇制度はないが昇給を実施した」企業が17社となっている。

賃金を改定するにあたり最も重視した要素では、「企業業績」を挙げる企業が74社で最も多く、次いで「世間相場」が14社、「労使関係の安定」が10社となっている。

（表2） 賃金改定額の分布



（表3） 改定率の分布



## 100年の経験と技術を結集 チームプレーでトータル提案を

笹嶋工業株式会社  
代表取締役

笹嶋 明人 氏



### 会社の沿革を教えてください。

創業は1919（大正8）年です。私の曾祖父の笹嶋佐久馬は京都で電気工事を学び、故郷へ戻ったのを機に、送電線、配電線の工事を行う、県内初の電気工事請負専門業を始めました。まだ県西部の河川には発電所もない時代で、砺波地域への電気の普及事業をゼロから始めました。

送電線整備とともに変電所などの工事も請け負っていたと思われ、

昭和8年には土木建築工事を加えた総合建設業になっています。

### －複合的な受注へシフト－

現在は、住宅建設や太陽光発電も行い、土木では独自の落石防護用フェンスを開発して施工しており、売上高の比率は送電部門が50%、配電・内線部門が20%、土木・建築部門が30%です。

順調に事業領域を拡大されてこられたわけですね。

昔は、「送電工事をやるなら鉄塔の基礎工事もできないか?」、「電気工事の知識を生かして内線工事もやれないか?」と自然に広がっていったのだと思います。

今は、複合的な仕事を意識した提案をしています。例えば、土木から配電、内線までを一貫して行う工事や、電線の地中埋設工事なども手掛けています。以前は社内の各部門が独立した感じがありましたが、会社を1つのチームとして考え、それぞれの技術を1つの現場に生かしています。

また、各部門の工事を実施から管理まで一括して行ってきた経験が現在の技術力にも繋がり、当社の強みともなっています。

**幅広い技術と経験が相乗効果を生む体制にされたのですね。**

もう1つ意識しているのは地元での仕事を増やすことです。送電線の工事は電気需要の落ち着く秋に集中的に行われ、しかも現場が遠方だとしばらく休みもとれず、帰って来られないこともあり、今の若い人には難しい環境です。

社員の派遣を交替で行うようにし、最近では依頼主が工事期間の延長に理解を示してくれるので、以前のように休みも取れないということはなくなりましたが、さらに地元の仕事を増やすことで、社員の負担を軽減するように心がけています。

**社内を1つのチームとしてまとめるための取り組みはありますか。**

全社員での運動会を1981年から行っています。また、新年会も全社員が集まって開きます。社員研修は部署ごとですが、毎年実施しています。

**新入社員の採用はどのようにですか。**

人材の確保は楽ではありません

が、毎年1～3人を目標に採用を行っています。

新入社員には入社当初からどんな声を掛けて、会社の思いを伝え、会社と仕事に慣れてもらうように努めています。その思いが伝わっているのか、離職率は低いです。

#### 女性社員の比率は？

圧倒的に男性が多く、女性は建築管理と内線工事にそれぞれ1人、あとは事務職ですが、事務の女性社員も自分のヘルメットと作業服を持っていて、現場パトロールに参加しています。この会社がどんなことをしているのかを知り、社員が現場で頑張る姿を見て欲しいのです。現場から帰った社員への労いの気持ちも変わるでしょうし、女性の目線から意見が出ることも期待しています。

#### 仕事を知るのはいいことですね。

家族向けにも、夏休みに子供参観日を設け、貸切バスで現場を回ります。お父さんの仕事を家族に理解してもらうのが目的ですが、いい仕事だと感じて、将来入社してくれたら嬉しいですね。

#### 企業理念には「感謝と人間尊重」を掲げられています。

先代から受け継いだ理念ですが、お客様あっての私達、社員あっての会社だと、感謝の気持ちを忘れずに、人を尊重した会社でありたいということは変わりません。

また地域に感謝し、地域のインフラを守っていくことが大切な使命だと思っています。地域への感謝として、毎月第1金曜日には近所の道路清掃をしています。そして毎年7月の全国安全週間の期間には、全社員で地域の清掃活動をし、高所作業車を出して街の街路灯の清掃もしています。



子供参観の日

#### — 100周年でさらに結束 —

#### 4月に100周年の記念式典を開きました。

お客様向けと、社員・OB向けと2部構成で、計約300人の方にご出席いただきました。当初、式典は感謝を伝える機会だと思っていたのですが、会社が1つにまとまる良い機会にもなりました。

実行委員会を作り、運営をほとんど社員に任せていたのですが、みんなが話し合い、お客様のおもてなしやOBへの配慮などを自発的に考えて、積極的に準備してくれたお陰で、出席者も喜んでいただけの充実した式になりました。

#### 今後の目標を教えてください。

電気と土木を軸に、ライフラインを守っていくことは変わりませんが、社会の変化に対応できる会社でなくてはなりません。

2020年に発送電の分離が実施されます。工事形態に大きな変化はないと思いますが、会社として常

#### 略 歴

1970年5月生まれ。南砺市(旧福野町)出身。1993年4月東光電気工事(株)入社。2000年2月笹嶋工業(株)入社、2012年6月代表取締役就任。

に対応できる体制を整えていくことは必要だと考えています。さらには、太陽光、風力、地熱、蓄電池等、新しいエネルギーへの変化にも対応していきます。

また、高度成長期に急速に発達したインフラの改修、建て替えへの対応、さらには突然の自然災害への対応など、様々な社会の要求に柔軟に応えられる、しなやかな会社でありたいと思っています。

#### 座右の銘を教えてください。

「日進月歩」です。日々前進していきたいと思います。

#### 会社概要

#### 笹嶋工業株式会社

創業：1919(大正8)年  
所在地：南砺市三ツ屋28  
資本金：4,000万円  
事業内容：総合建設業(電気工事、土木工事、建築工事、管工事、造園工事、舗装工事、水道施設工事、消防施設工事、鋼構造物工事、電気通信工事等)  
従業員数：128名(2018年5月現在)  
事業所：砺波支店、富山営業所、金沢営業所、福光営業所、関西出張所、中部出張所、新潟出張所  
関連会社：東洋道路興業(株)、アースコンサルタント(株)、(有)丸八工業  
U R L : <http://www.sasajima.net/>

# 事業活動報告

2018年4月10日～6月8日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数
会 議	品質管理委員会「幹事会」	品質管理	4月10日(火)	富山経協・研修室B	11名
	理事会		4月23日(月)	富山経協・研修室A	10名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	4月23日(月)	富山経協・研修室A	7名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	5月16日(水) 5月17日(木)	高岡高等支援学校 富山高等支援学校	8名 11名
	第73回定時総会		5月23日(水)	富山国際会議場	204名
	理事会		5月23日(水)	富山国際会議場	14名
	講演会・懇親会		5月23日(水)	富山国際会議場・ ANAクラウンプラザホテル富山	375名
	環境委員会「県との情報交換会」	環 境	5月29日(火)	富山商工会議所ビル	35名
	環境委員会「定例委員会」	環 境	5月29日(火)	富山経協・研修室A	24名
	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	6月6日(水)	富山経協・研修室A	12名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	管理職マネジメント研修	教 育	4月12日(木)・ 5月11日(金)～5月12日(土)	富山経協・研修室A 富山県農業総合研修所	25名
	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	4月12日・19日・26日(木) 5月10日(木)	富山商工会議所ビル	40名
	人事・労務管理セミナー<第1回>	人事・労務政策	4月16日(月)	富山経協・研修室A	18名
	営業力基礎セミナー	教 育	4月24日(火)・25日(水)	富山商工会議所ビル	26名
	職場リーダー基本コース	教 育	5月15日(火)・16日(水)	タワー111ビル	69名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	5月24日(木)・6月7日(木)	富山経協・研修室A	25名
	仕事の基本「報連相」セミナー	教 育	5月29日(火)	富山商工会議所ビル	46名
	好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー	教 育	6月6日(水)	富山商工会議所ビル	39名

## 理 事 会

### ■ 4月理事会

4月23日(月)16時30分から、金岡会長はじめ理事総数12名中7名、監事総数4名中3名が出席して、4月理事会を富山経協・研修室Aで開催した。

金岡会長の挨拶のあと、①総会付議案件審議の件、



②新会員承認の件、③耐震補強工事に伴う事務所一時移転の件について審議し、全員異議なく承認された。

また、役員人事について、副会長 笠井千秋氏、理事 薄田賢二氏の2氏が退任し、株式会社タカギセイコー代表取締役社長 八十島清吉氏、株式会社不二越常務取締役 小林昌行氏の2氏を新理事とする人事案が承認された。

### ■ 5月理事会

5月23日(水)16時30分から、理事12名中10名、監事4名中4名が出席して、5月理事会を富山国際会議場2階会議室で開催した。

①役員人事(案)、②理事法人間利益相反取引について審議し、全員異議なく満場一致で承認された。

### 総務交流委員会

#### ■ 定例委員会

6月6日(水)、武内委員長はじめ12名が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。

武内委員長の開会の挨拶の後、事務局より2018年度事業の実施状況(各種調査結果等)について報告した。

次に、2018年度の事業予定について事務局から説明し、審議した結果、経営課題調査を「現場力向上と人材育成」に関して行うこと、婚活イベントは「料理教室&ランチパーティ」を開催すること等を決めた。

最後に山田副委員長の閉会の挨拶があり、終了した。



最後に山田副委員長の閉会の挨拶があり、終了した。

### 人事・労務政策委員会

#### ■ 幹事会

4月23日(月)、笠井委員長はじめ幹事7名が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。

笠井委員長挨拶の後、①委員会役員の交替、②委員の交替、③新卒等採用状況調査・賃金改定調査、④講座・セミナーの開催結果と開催予定、⑤研究部会新規部会員の

募集申込状況について報告した。

次に今後の事業活動として、①5月定例委員会は16日と17日に高岡・富山両高等支援学校にて開催する。②8月定例委員会は、経団連から講師を招き「働き方改革」推進に関する講演会と、障害者雇用の法定雇用率が2.2%に引き上げられたことに伴う説明会を実施す



ることを審議の上決定した。

#### ■ 高等支援学校見学会・定例委員会

5月16日(水)高岡高等支援学校(笠井委員長はじめ8名参加)、17日(木)富山高等支援学校(11名参加)で定例委員会を開催した。

第1部の見学会では、学校の概要説明の後、ものづくり・流通・環境・福祉の各分野の作業学習授業を参観した。先生から「生徒達は、1つのことを集中してできる環境にすると非常に高い集中力が

ある」と説明を受けた通り、熱心に作業学習に取り組んでいた。両校とも校舎や校舎周りは生徒達で掃除をしており、隅々まで清掃が行き届いていたことでもその集中力が伺える。次に、県商工労働部より障害者雇用促進の取組みについて説明いただいた後、先生と意見交換、質疑応答を活発に行った。

第2部の定例委員会では、笠井委員長挨拶の後、人事異動に伴う



役員・委員の交代を報告した。その後、今後の事業活動について、4月23日(月)に開催した幹事会での決定事項を報告し承認を得た。

### 品質管理委員会

#### ■ 幹事会

4月10日(火)、谷川委員長はじめ幹事11名が出席して富山経協・研修室Bにおいて開催した。

人事異動に伴う退任幹事の挨拶の後、委員会規則に基づき、谷川委員長より新幹事を選任した。

次に2018年度の具体的な事業活動を協議し、今後の定例委員会に

ついては7月と2月を見学会形式に、9月と12月をグループディスカッション形式にすることとし、①企業見学会の候補先、②グループディスカッションのテーマを審議した。さらに、県外企業見学研修会については埼玉県を中心に委員長と調整の上で決定することとした。また、講座・セミナーの担



当委員については、希望調査の結果を確認し、了承された。

環境委員会

■ 定例委員会

5月29日(火)、定例委員会に合わせ講演・情報交換会を開催した。

第Ⅰ部の講演・情報交換会は矢野委員長はじめ35人が出席し、富山商工会議所ビル99号室で開催した。富山県生活環境文化部から環境政策課 廃棄物対策主査 八田哲

典氏と環境保全課主任 村澤武洋氏の2人を招き、講演をいただいた後、情報交換を行った。

第Ⅱ部の定例委員会は矢野委員長はじめ24人が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。委員長挨拶の後、2018年度事業計画の説明と今年度の企業見学と環境保全活動



の予定について審議した。

富山県生活環境文化部との情報交換会(講演要旨)

3 R 推進全国大会に向けた取組みについて

環境政策課 廃棄物対策班 主査

八田 哲典

全国初となる県内全域でのレジ袋無料配布廃止の開始から10周年の節目を迎える本年10月に「3 R 推進全国大会」が本県で開催されます。県では、「3 R 推進全国大会」に向けて、様々なライフスタイルに対応するため、「いつでも、どこでも3 R」としてコンビニエンスストアでのマイバッグ持参の呼びかけや家電量販店と連携した小型家電の回収促進の取組みを推進していきます。

また、平成28年に開催された「G7富山環境大臣会合」において、食品ロス・食品廃棄物の削減を含む「富山物質循環フレームワーク」が採択されたことから、県民、事業者、関係団体、行政などが一丸となって食品ロス等の削減に向けた全県的な運動

を推進しています。今年度は、家庭内での着実な実践行動を促すため、グループ単位で食品ロスの廃棄ゼロを競う「ロスゼロウィーク県民チャレンジ」や家庭で持て余している食品を活用するサルベージ・パーティに関するセミナー開催の支援などを展開することとしています。

さらに、県内海岸に流れついている漂着ごみの約8割が県内から発生したものであり、人工のごみについてはプラスチック類や発泡スチロール類の割合が高いことから、普段からのごみ減量化や河川など身近な場所での清掃美化活動が重要となっています。このため、県では自主的な清掃活動を促進するため、ごみ拾いの様子を発信できるスマホアプリ「ビリカ」への投稿を呼び

かけているところです。

このほか、地球温暖化対策については、家庭部門や業務部門において温室効果ガス排出量が増加していることから、引き続き、この部門での省エネルギーの取組みを推進する必要があります。工場・事業場での省エネ対策は、コスト削減を通じて生産性向上にもつながりますので、国が行っている省エネ診断や設備更新支援等の活用をご検討ください。

県では、「3 R 推進全国大会」を契機に、本県の環境施策を全国に向けて発信するとともに、県民、事業者、民間団体等と連携を図りながら、3 Rの取組みを一層推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

土壌汚染対策法の改正と地下水指針の改定について

環境保全課 主任

村澤 武洋

1. 土壌汚染対策法の改正について

土壌汚染対策法(以下、「法」)では、土壌汚染状況調査の実施、調査結果に基づく区域の指定等について規定されています。このたび、国において今後の土壌汚染対策の在り方について検討が行われ、その内容を踏まえて法の一部を改正する法律が平成29年5月に公布されました。

今回の法改正では、土地の汚染状況の把握が不十分であるという課題に対応するため、土壌汚染状況調査(以下、「調査」)の実施対象となる土地が拡大されることとなりました。

具体的には、改正法施行後(平成31年予定)は、法第3条第1項ただし書きにより調査が猶予されている土地においては、土地の形質変更時(900㎡以上)に届出をすることとされ、また、都道府県知事はこの届出がなされた形質変更を行う土地につい

て、調査を命ずることとなります。

また、法第4条に基づく土地の形質変更時の届出については、法改正前は土地の利用の方法によらず3,000㎡以上の形質変更が届出対象でしたが、改正法施行後は、有害物質使用特定施設が存在する工場等の敷地にあつては、900㎡以上の形質変更が届出対象に新たに追加されることとなります。

このほかの改正内容も含め、平成31年に改正法が全面施行される予定であるため、今後とも皆様に適切に情報提供したいと考えております。

2. 地下水指針の改定について

県では、本県の豊富で清浄な地下水を将来にわたり保全・適正利用するための取組みを示す「地下水指針」について、地下水を取り巻く状況の変化や課題を踏まえて平成30年3月に改定しました。

改定指針では、冬期間の取水障害を防止するための指標として、新たに「冬期間の注意喚起水位」を定めました。この水位を下回る状況が継続するおそれがある場合には、富山市・高岡市内において、道路管理者、消雪設備管理者、工場等へ情報提供するとともに、節水への協力を要請したいと考えています。

このほか、揚水の状況や土地利用の変化等を踏まえて「適正揚水量(年間)」の数値を見直すとともに、「地下水の涵養」、「地下水の保全と創水に係る意識の高揚」など、各種の取組みを拡大して推進することとしました。

県としては、本指針に基づき地下水の保全・適正利用及び創水の取組みを県民、事業者及び行政機関の皆様とともに推進したいと考えていますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

階層別研修

■管理職マネジメント研修

昨年9月11日(月)に開講した第10期「管理職マネジメント研修」は、5月12日(土)に3回の合宿を含む12日間の日程を終えて閉講した。参加者は会員企業の幹部候補者25名で、全員が研修を修了した。

最終回では、本研修での学び(相互学習)を通じて蓄積した知識や経験の総まとめとして、2月から4か月間にわたり取り組んだグ

ループ研究の成果を発表し、講師である羽田野正博氏より講評を頂いた。また、(株)アイパック 創業者・相談役 高見貞徳氏から経営者講話をいただき、創業者精神や経営哲学について学んだ。

講義では、管理職として抱えている問題・課題についてワークショップを実施して、受講者同士で問題意識と解決の方向性を共有し、羽田野講師よりフィードバ



クが行われた。今後は同期会を開催して、引き続き交流を深める。

■職場リーダー基本コース

5月15日(火)・16日(水)、69名が参加してタワー111ビル スカイホールで開催した。

本研修は、職場リーダー・リーダー候補者を対象に、「仕事と人のマネジメント」「コミュニケーション」に必要な理論・スキルについて学ぶことをねらいに、今年度新たに企画した。

(公財)日本生産本部主席経営コンサルタントの木下耕二講師は、事前課題(事例研究)を用いて職場リーダーとして必要な視野の拡大を図った上で、①職場リーダーの立場と役割、②業務の管理、③協働、④コミュニケーションについて講義し、参加者はグループ演習を通じて理解を深めた。最後に研修での学びや自己課題を明確化し



終了した。



参加者NOTES

「2017年度管理職マネジメント研修」を受講して

日の出屋製菓産業株式会社  
FAセンター センター長

今井 洋一



昨年9月から今年5月まで毎月1回開催され、そのうち宿泊3回を含むのべ12日間のカリキュラムは正直、長丁場だと思っていたのですが、終わってみると、短期では味わうことの出来ない充実感や達成感を得ることが出来ました。

参加された方は異業種ではあるものの一度は耳にしたことのある県内企業や団体の方々と、うまくコミュニケーションが取れるのか不安もありましたが、研修中のグループワークやグループディスカ

ッションの中で、同じような悩みや問題点を持っていて、それについてのみなさんの考えや対応を聞くことができ、共感し、参考になることも多くありました。

講師の羽田野先生は、ご自身の体験も交えながら『経営観、コミュニケーション、マネジメント、マーケティング、リーダーシップ等』を講義される際に、何度か「管理者である、みなさん、おひとりおひとりの…」と、我々への個人としての知識や管理能力を高めるこ

との大切さを訴えておられ、今後の管理者としての成長を意識させられる内容でした。

また、経営者として講話していただいた、富山県生活協同組合の松浦均様には事業展開や運営についてわかりやすくお話しいただき、(株)アイパック 高見貞徳様にはご自身の生い立ちから起業するまでの体験談を聞かせていただき、質疑応答ではご自分の言葉で答えられ、誠実な人柄を感じ取れてよい経験を与えていただきました。

今回、人は自ら経験を作り出して学ぶことやリーダーによってその組織が変わることなどを学びました。今後は管理者である自らのマイキャリアデザインを描き邁進いたします。

共 通

■ 仕事の基本「報連相」セミナー

5月29日(火)、新入社員および若手社員46名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

講師の羽田野正博フォーワン代表取締役から、「仕事ができる」とはどういうことか、そもそも「仕事」とは何かという問いかけから始まり、組織の一員として働くことについて理解を深めた。続いて

①報告のポイントとして、情報の整理、TPOに合わせた報告、そして中間報告を忘れないこと。②連絡のポイントは、状況により連絡手段を使い分け、悪い情報ほど早く伝えること。③相談のポイントは、5W2Hを整理してから相談すること、結果報告が信頼関係を高めるなど、報連相のポイントについて講義と、事例を交えたグ



グループディスカッションを通じて学んだ。

■ 好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー

6月6日(水)、39名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

アイル・インターナショナルの剣地 愛講師は、ホスピタリティの知識に加え、コミュニケーションの重要性として第一印象の大切さを解説した。演習ではロールプ

レイングを取り入れ、バーバル、ノンバーバルなどのコミュニケーションスキルについて実習を行った。受講者は心理学的アプローチを交えた講義とグループワークを中心としたプログラムを通じて、職場での良好な人間関係や信頼関係を構築するためのコミュニケーションの理論とスキルを学んだ。



参加者NOTES

「職場リーダー基本コース」を受講して

黒田化学株式会社  
製造部 製造3課

山田 貴志



今回受講したセミナーでは、最初に5~6人のグループが割り振られました。私のグループでは、製造3人・営業1人・総務1人の5人のグループ構成で、事前課題で配布されていた日露戦争時の実話を元に、グループとして内容を纏める作業を行いました。最初は、初対面同士どういった性格が分からなかったので緊張しましたが、世間話をしながら少しずつ緊張がほぐれ、一つのチームとして進められて良かったと思います。しかし、自分と意見や進め方が違う場合に、うまく対処することが出来

ないことが分かりました。ちょうどその後に、傾聴の説明がなされたのは良いタイミングでした。

傾聴とは、簡単に言えばしっかりと聞くこととなりますが、実際には、色々なテクニックがあることが分かりました。保留する(すぐに判断しない)ことと信念を押し付けられないことの大切さを学び、相手が話しやすい環境を作り、相手から話を上手く引き出すことも意識していく必要性を感じました。

コース全体をとおして良いと思った点は、講師の先生が一方的に話すのではなく、異業種の方々

が集まり、ディスカッションをとおして悩みの共有や解決策の相談ができることだと思いました。特に上司や部下とのコミュニケーションには私も悩んでおり、部下に対してどのように接すれば良いか迷う時があります。同じ製造業でも、納得するまで説明する人がいれば、言うことを聞かない人に対して厳しい態度で接する人もいて、色々と勉強になりました。

講義の最後には、自分の目標を表す漢字1文字を考えるという課題がありました。私は、『信』を選びました。木下講師から学ばせて頂いたことを生かし、「上司に信用されること」、「メンバーに信頼されること」、「周りから信頼を得られること」を意識して仕事に取り組みます。ありがとうございました。



## 労務管理

### ■人事・労務管理セミナー(第1回)

4月16日(月)、「人事考課と育成面接セミナー」と題して、18名が参加し富山経協・研修室Aで開催した。

講師の(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント 大場正彦氏は、「評価は処遇だけに活用するものではなく、評価をいかに育成へ

と結びつけていくかが重要である」とした上で、人事考課の基本的な仕組み・ルール、評価育成に向けた一連の流れ(目標設定・職務行動把握・評価育成プラン作成、面接)について具体例を交えて紹介した。参加者は、講義とグループワークを通じてお互いに意見交換し、部下の心理面を考慮したきめ



細かいフィードバックとフォローが大切であることを学んだ。

## 営業

### ■営業力基礎セミナー

4月24日(火)・25日(水)、27名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

講師の(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント 小林定夫氏は、顧客ニーズが高度化する中でビジネスを成功に繋げるためには、潜在している顧客の考えや

気持ちを正しく理解し実現・解決する「提案力」がますます重要になっているとした上で、①「売上を伸ばす営業担当の行動特性」、②「新規開拓」、③「提案」、④「営業戦術」、⑤「SWOT分析」について、講義とケーススタディを用いた異業種の参加者とのグループ討議と、ロールプレイングによる



実践的な演習を通じて、さまざまな視点・考え方を学んだ。

### 参加者NOTES

#### 「営業力基礎セミナー」を受講して

税理士法人すずかぜ

松永 和歌子



2日間にわたる「営業力基礎セミナー」を受講して、自社の営業を見直す良い機会となりました。私はM&A業務に携わっており、M&Aにおいて効果的な提案につなげるための営業とはどういうものかを模索していました。今回のセミナーのテーマが「潜在ニーズや課題を明らかにし、顧客の考えや気持ちを正しく理解し解決する提案型営業」ということで、提案型営業のプロセスと効果的な営業方法を学びたいと思い参加いたしました。

営業プロセスとしては、アプローチ段階(初回訪問・継続訪問)、

商談段階(提案・見積)、成約段階の3つのステップがあり、この営業プロセスを体系的に理解することができました。アプローチ段階では、まず会社概要等から顧客を理解し、誰に対し営業を行うのかを意識することの重要性、商談段階においては、「顧客に沿った提案になっているか、ニーズに応えているか、顧客の成功につながるかを意識して実践していく」ことの大切さを再認識できました。

演習においては、自分自身で課題やニーズを見つけ出し、それに対しどのような営業活動を行うかを考え、最後にグループで討議す

るという一連の流れを繰り返し行うことによって、営業の組み立て方を学ぶことができました。また、ロールプレイングでは、提案する側、提案を受ける側、審査員(第三者)というそれぞれの立場を経験し、特に、審査員として第三者の立場で俯瞰的に見ることで、自分とは異なる視点・考え方を体感できました。他の受講生の柔軟な発想、説得力のある説明の仕方も大変参考になりました。

今後の営業活動においては、「一方通行の説明ではなく、顧客との対話の中で困りごとや課題を聞き出すことが提案につながる」という先生の言葉を心に留め、顧客視点でより踏み込んだ提案型営業を実践していきたいと思います。そして、自社に合った営業スタイルや成果が出る仕組みを確立していきたいと考えています。

品質管理

■品質管理入門講座<基礎編>

4月12日(木)から5月10日(木)までの全4日間の日程で、40名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師にはM&P研究所とやま所長 竹村 稔氏を迎え、初めて品質管理を学ぶ人を対象に、効果的に改善を進めるために不可欠である

「品質管理」の考え方と、問題の発見・解決に役立つQC7つ道具の使い方について、講義と演習を通じて学んだ。

最終日は総合実習として「紙飛行機を遠くに飛ばそう！」をテーマに、班別でどうしたら遠くに飛ばすことが出来るかを、3回の講義で学んだQCストーリーに沿っ



た小集団活動を行いながら学んだ。

■実践しながら学ぶ

統計的手法活用講座

5月24日(木)から11月29日(木)までの14日間の日程で、富山経協・研修室Aを会場に25名が参加して開講中である。

本講座は企業の体質改善を進めるために必要な役割を担うスタッフ・技術者を対象に、問題解決に必要な統計的品質管理(SQC)の

手法を学ぶとともに、職場の問題をテーマに選定し、講師のカウンセリングを受けながら実践的な品質管理手法を駆使して問題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめることにより、自己完結能力を高めることをねらいとしている。

初日は、品質管理概論の講義に加え、他企業の受講生と仕事の内



容、進め方などを意見交換し、相互交流をしながら真剣に学んだ。

参加者NOTES

品質管理入門講座「基礎編」を受講して

佐藤鉄工株式会社  
安全・品質保証部 安全室

大場 信一郎



私は安全管理業務を担当しており、品質管理については素人です。本講座を受講するにあたって、当初は「品質管理の手法であるQC手法を学んで自分の業務に結びつくだろうか」と考えておりました。しかし、講座を終えた今ではその不安は杞憂であったと言えます。

講座では品質管理の基本、QC的ものの考え方、QC七つ道具などについての講義が行われ、QC的な問題解決の手法を学ぶことが出来ます。

QC七つ道具には、「グラフ」や「チェックシート」などがあります。これらはパソコンソフトで簡

単に作れるため、これまでも業務で使用していました。しかし、グラフは何を示したいのか、チェックシートはどうすれば記入しやすく、集計しやすいものになるかといった基本的なことは深く考えずに作成していました。講義でこれらの基礎を学べたことで、今後の業務で活かせると感じました。

また、最終日には5人程度のグループとなって「紙飛行機を遠くに飛ばそう！」というテーマでQC手法を用いて問題解決していきます。これまでも問題を解決するため試行錯誤をしていましたが、思いついた対応策を実践するだけ

で、結果的に上手くいったとしてもなぜ上手くいったのか分からないままというケースが多くありました。しかし、QC手法を用いてPDCAのサイクルを回して進めると、グラフやパレート図を用いて現状を把握し、特性要因図を用いて問題の「真の要因」を追求すると、対応策や今後は何をすべきかなどが非常に明確になります。「紙飛行機を遠くへ飛ばす」という品質管理とは関係のない問題であってもQC手法は有効であり、日々の業務の中で発生する問題を解決する方法として非常に有効であることが分かりました。

本講座で学んだ内容は今後の業務に活用できるものばかりでした。品質管理業務を行っている方はもちろん、私のような他業務を行っている人間も積極的に受講すべき講座だと思いました。

## 会員の動き

(50音順)(敬称略)

### ■ 代表者の変更

#### 株式会社アイザック

代表取締役社長 石崎 大善 (前:石崎由則)

#### アイシン軽金属株式会社

代表取締役社長 中村 隆次 (前:河原嘉史)

#### アルビス株式会社

代表取締役社長 池田 和男 (前:大森 実)

#### 株式会社 北日本新聞社

代表取締役社長 忠田 憲美 (前:板倉 均)

#### 高岡信用金庫

理事長 吉岡 周 (前:在田長生)

#### 株式会社ナチ立山ベアリング

代表取締役 片山 武宏 (前:北山誠一)

#### 株式会社ナチ富山ベアリング

代表取締役 村田 義継 (前:尾定 均)

#### 株式会社ナチ日本海ベアリング

代表取締役 西尾 英一 (前:片山武宏)

#### 株式会社ナチベアリング製造

代表取締役 西尾 英一 (前:片山武宏)

#### 日新火災海上保険株式会社 富山サービス支店

支店長 竹川 英児 (前:中村元彦)

#### 日本生命保険相互会社 富山支社

支社長 川島 良章 (前:北島健司)

#### 日本曹達株式会社 高岡工場

執行役員工場長 渡辺 敦夫 (前:高野 泉)

#### 株式会社ヌノムラ

代表取締役 田村 和仁 (前:布村雅昭)

#### 三谷産業株式会社 空調事業部富山支店

支店長 高田 信吾 (前:上嶋 修)

### ■ 役職位の変更

#### 株式会社 大和 富山店

取締役店長 中崎 俊也 (前:店長)

#### 日本カーボン株式会社 富山工場

専務執行役員工場長 山崎 裕功 (前:常務取締役工場長)

### ■ 所在地変更

#### 豊商運輸株式会社

〒930-0379 中新川郡上市町放士ヶ瀬新45番地1

(前:滑川市東金屋146)

TEL: 076-472-5048 FAX: 076-461-5348

## 新会員の紹介

### ■ 石坂建設株式会社

所在地 富山市神通町2丁目3番10号  
代表者 代表取締役社長 石坂 兼人  
設立 1963年(昭和38年)10月  
資本金 7,000万円  
従業員 24名  
事業内容 総合建設業(建物の企画・設計・施工)



春の叙勲ご受章おめでとうございます

旭日双光章

テイカ製薬株式会社  
代表取締役社長 松井 竹史 氏



表紙の花  
ギンコウボク

(富山県中央植物園 中田政司)

### 植物界の金と銀

いろいろな話題で盛り上がった冬の平昌オリンピックでしたが、日本は金メダル4個、銀メダル5個を獲得しました。植物の世界では、黄色い花を着けるものに対してキン〇〇、白い花に対してギン〇〇という名前がよく付けられています。秋に咲く香りの良いキンモクセイ(金木犀)とギンモクセイ(銀木犀)が有名ですが、その他にもキク科のキンセンカ(金盞花)とアオイ科のギンセンカ(銀盞花)、野生ランのキンラン(金蘭)とギンラン(銀蘭)などいろいろな植物があります。

写真は中国南部で街路樹や観賞木とされるモクレン科のギンコウボク(銀厚朴)の花で、黄色いキンコウボク(金厚朴)とともに中央植物園

の雲南温室で見ることができます。

### 花は香水の原料

6月に雲南温室の奥の部屋に入ると清新な良い香りがします。この香りの正体がギンコウボクで、キンコウボクも同様に香ります。ギンコウボクは中国では「白蘭」または「白玉蘭」と呼ばれていて、「蘭」はよい香りのする植物の総称であることから、香りの植物として親しまれてきたことがわかります。漢字の「厚朴」は同じモクレン科のホオノキ(の樹皮)のことですが、「香木」と書いた方がふさわしいかもしれません。

花の右にある緑色の紡錘形のは蕾で、やがて白くなると同時に強く香るようになります。抽出した精油成分は香水の原料にされますが、雲南省では白い蕾を切り取って糸で括り、そのまま服に付けたり車の中に下げて芳香剤代わりに使われています。



キンコウボク▶

## 西部地区会員懇談会

7月6日(金) 16時～19時

場 所： ホテルニューオータニ高岡 4階 鳳凰  
(高岡市新横町1番地 電話(0766)26-1111)

16:00～17:30 講演会

テーマ：「リーダーの危機管理と人材育成」

講 師： 危機管理・リスクマネジメント講師(元日本航空機長)

航空評論家 小林 宏之 氏

17:40～19:00 懇親会

## 事業予定

2018年6月18日～8月15日

詳しくはホームページ(<http://www.toyama-keikyo.jp/>)  
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場 所
会 議	6月26日(火)	14:00～16:10	教育委員会「定例委員会・教育制度見学会」	教 育	トナミホールディングス(株) 教育研究所
	7月 3日(火)	14:00～16:00	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	日本カーボン(株) 富山工場
	7月 6日(金)	16:00～19:00	西部地区会員懇談会・講演会・懇親会 <small>上記「おしらせ」参照</small>		ホテルニューオータニ高岡
	7月13日(金)～14日(土)		北陸三県・長野県経営者協会役員協議会		福井県
	8月 3日(金)	16:40～17:30	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	タワー111ビル
見学会	7月24日(火)～25日(水)		環境委員会「県外企業見学研修会」	環 境	京セラ(株) 滋賀野洲工場 トヨタ自動車(株) 元町工場、トヨタ会館
講 座 ・ セ ミ ナ ー	6月19日(火)・20日(水)	9:30～16:30	チーム力向上セミナー	教 育	インテック大山研修センター
	6月21日(木) 7月 5日(木)・26日(木) 8月 2日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室A タワー111ビル
	6月22日(金)	9:00～17:00	IE手法による生産現場の改善セミナー	品質管理	富山県市町村会館
	7月10日(火)・11日(水)	9:30～16:30	監督者基礎コース(A日程)	教 育	タワー111ビル
	7月12日(木)・13日(金)	9:30～16:30	監督者基礎コース(B日程)	教 育	タワー111ビル
	7月19日(金)～21日(土)	9:00～15:00	部課長実践講座	品質管理	インテック大山研修センター
	8月 1日(水)	9:30～16:30	人事・労務管理セミナー(第2回)	人事・労務政策	タワー111ビル
	8月 3日(金)	13:30～16:30	健康経営導入セミナー	経営企画・IT	タワー111ビル
	8月 7日(火)	9:00～17:00	なぜなぜ分析活用セミナー	品質管理	タワー111ビル

## ※ 事務所一時移転のお知らせ

富山経協が入居する富山商工会議所ビルの耐震補強工事に伴い、8月から事務局は下記へ移転します。  
(委員会や講座・セミナーの会場も同様に移ります。4頁掲載「総会議事」をご覧ください。)

- 移転先 タワー111ビル(富山市牛島新町5-5) ● 移転期間 2018年8月から2年間(予定)

## 「富山経協」vol.840

2018年(平成30年)6月号  
2018年6月15日発行(隔月発行)

## 一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール [info@toyama-keikyo.jp](mailto:info@toyama-keikyo.jp)